

# わかくさ

社会福祉法人栄光会

児童養護施設 若草園

〒787-0155 高知県四万十市下田 2211

Tel (0880) 33-0247 Fax (0880) 33-0518

IPフオン 050-3344-8850

ホームページ⇒ <http://wakakusaen.holy.jp/>

発行：福留久美、編集：瀬戸雅弘



## 若草園にかかる虹

不順な天候が続きますが、ある日の夕方、若草園をつなぐような大きな虹がかかりました。よく見れば副虹もうっすらと見えます。



## ごあいさつ



理事長 平岡和好

日頃より社会福祉法人 栄光会 若草園の運営に対しまして格別の御支援、御協力をいただき厚く御礼申し上げます。若草園では、福留園長を中心に、施設利用児童のため何をすべきかを改めて考え、「小舎制」グループホームを運営しているところであります。

社会福祉法の一部改正により施設運営も大きく変動しました。厚生労働省から打ち出された「新しい社会的養育ビジョン」は特に乳児院、児童養護施設に多大なる課題提言が発表されており、今後施設はより実効性のある施策が展開され課題解決に向けた取組が着実に進められるよう若草園としての役割を果たしてまいりたい所存であります。

施設は「施設利用児童」、「保護者」の皆様に満足してもらうことがなにより重要であります。時代に応じて変えるべきところは変えて、チームで助け合い対応していくことが大事であります。若草園発展に向け、法人役員、職員一同全力を尽くしてまいりますので多くの皆様の一層の御指導と御協力をお願い申し上げます。



## 育児相談窓口

児童家庭支援センター

わかくさ

でんわ(0880) 33-0258

24時間 365日無料





# 児童養護施設若草園の 運営にかかわる 役員紹介

児童養護施設「若草園」と児童家庭支援センター「わかすき」（退所児童等アフターケア事業「あおば」を含む）の運営母体である社会福祉法人「栄光会」の役員をご紹介します。



理事長 平岡 和好    常務理事施設長 福留 久美    理事 山崎 育代    理事 本田 三津代    理事 宮本 昌博    理事 矢野川 研



監事 山沖 優子    監事 山本 博昭    評議員 三好 琴喜    評議員 黒岩 将    評議員 池本 幸子    評議員 植木 俊博



◇苦情解決第三者委員 相談員 乾 梢    相談員 森田 智枝    相談員 立石 大

## 〇〇 役員顔ぶれ 〇〇

「法人役員」とは正確には理事と監事のことですが、ここでは評議員と施設の第三者委員も含めて若草園の役員としてご紹介いたします。役員は地域の福祉関係者、学識経験者などによって構成されております。  
「若草園を支える会」は次号にて紹介いたします。

7.7 七夕かざり  
各ホームそれぞれのたなばた飾りが完成しました。願ったことは叶っていくものです。



6.28 元気なツバメ  
今年もいろいろありましたが、無事に若草園からたくさんの雛が巣立ちました。  
(機関誌No. 42、44 に関連記事あり)



4.24 職員歓迎会  
新入職員を迎えて、今年は園内で行いました。



4.17 年度はじめの職員会  
新年度がはじまり新人と共に職員会。理事長よりあいさつと辞令交付がありました。



5.21-28 美容ボランティア  
松山市の美容室 Arwitt Attic Hair Makers Co. 渡部さんが四万十市にサーフィンに通う中、若草園の存在を知り、数回に分けて子ども達の髪を切って下さいました。



6.4 ベビープール解禁  
ベビープールのプール開きをしました。各ホームに居る幼児も興味津々です。休みの日にはその子達も仲間に入れてあげます。



## △△ 落とし物のお知らせ △△

5月26日(土曜日)若草園で開催しましたガーデンパーティーのあとで、鍵の落とし物が発見されました。南京錠の鍵のようです。鍵の品番はNo. 2500とあり、鍵番号はR421と刻まれています。下の写真の鍵ですが、心当たりのある方は若草園(電話 0880-33-0247)までお知らせ下さい。来年のガーデンパーティーまでは保管しておきます。



今年はいにくの雨天のため施設内での開催となりました。 →



## 誌ものが こども高知新聞

機関誌No.43に続いて、また若草園の子どもの作品が「レッツ！五・七・五」のコーナーに掲載されました。  
若草園では各ホームごとに1軒の家庭に見立てて子育てをしておりますので、A・B・Cホームと平野・具同ホームに管理棟、あわせて6部の高知新聞を購読しています。

### おいしいな 四万十川の青さのり



「学校の先生のコメント」  
一條太鼓にでる友だちを応援してくれる、やさしい友だちですね。みんなでたっぷり楽しんだことでしょう。よかったね。

「がんばるぞ。」  
と言っていたので、私もRちゃんたちに負けないようにがんばっておうえんします。  
きよ年は、マジックもあって、すごくおもしろいマジックだったので、今年も見たいです。  
あしたのガーデンパーティーは、みんなではりきってあそびます。  
「学校の先生のコメント」  
一條太鼓にでる友だちを応援してくれる、やさしい友だちですね。みんなでたっぷり楽しんだことでしょう。よかったね。  
「楽しまやね。」  
と言つてにこにこわらっています。  
もちろん私もにこにこがとまりません。私は、Uちゃんとガーデンパーティーで遊ぶうとやくそくしていました。だからなにがなんでも行くつもりです。  
私は、ガーデンパーティーで何よりも大きなのが一じようだいです。一じようだいのこのメンバーに、Rちゃんたちもいます。Rちゃんたちは、学校で、  
「がんばるぞ。」  
と言つていたので、私もRちゃんたちに負けないようにがんばっておうえんします。  
きよ年は、マジックもあって、すごくおもしろいマジックだったので、今年も見たいです。  
あしたのガーデンパーティーは、みんなではりきってあそびます。  
「学校の先生のコメント」  
一條太鼓にでる友だちを応援してくれる、やさしい友だちですね。みんなでたっぷり楽しんだことでしょう。よかったね。  
「楽しまやね。」  
と言つてにこにこわらっています。  
もちろん私もにこにこがとまりません。私は、Uちゃんとガーデンパーティーで遊ぶうとやくそくしていました。だからなにがなんでも行くつもりです。  
私は、ガーデンパーティーで何よりも大きなのが一じようだいです。一じようだいのこのメンバーに、Rちゃんたちもいます。Rちゃんたちは、学校で、

# 定期総会のご案内

8/11(土)



若草園の後援会組織として運営されております「若草園を支える会」の定期総会が8月11日(土)曜日・山の日) 10時から、若草園の地域交流多目的ホールにて開催されます。今回は設立10周年の記念すべき総会です。

会場を若草園での開催にしました。ガーデンパーティーではゆつくりと施設見学ができなかった方にとっても、今回の総会でも希望する方には施設の案内をさせて頂きます。どうぞ皆さん、ご出席下さいますようお願い致します。

若草園では今まで寄付金の募集について、社会福祉法人への寄付金と、若草園を支える会への寄付金(会費)との間で混同してしまう面がありましたので、これを機会に整理しました。詳しい説明はホームページの「寄付をする」にございます。

若草園はこれからも地域の中であって、地元の方々と共に歩んでいきます。若草園では会議室や施設の備品(和太鼓、屋台道具、屋外用テーブル・チェア、発電機など)を貸し出すなど、地域の皆さんのお役にも立ちたいと願っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



## 退所児童等アフターケア事業



新年度から社会的養護自立支援事業と名称が変わったアフターケア事業です。児童養護施設、里親家庭などから自立した方の相談はこちらで受け付けています。

TEL (090)5912-1785  
(9:00-17:00) 相談員：岡崎

## ~平成29年度~ 苦情解決報告

(平成29年2月4日  
~30年3月26日)



3月26日午後7時半から若草園にて苦情解決第三者委員会を開催しました。出席者は3名の委員と園長、3人の主任の7名です。

今年度は苦情受付ポストへの投函はなく、口頭での苦情もありませんでした。しかし、入所児童の保護者との関わり方や子どもへの援助について児童相談所から注意を受けることがあり、それについて話し合いました。

また、昨年の会で議案になったホーム異動をした子どもの近況について委員から質問がありました。その後、子どもの声を聞き取るためにはどのようなことをしたらよいのか話し合いました。

若草園ではサービス向上のために利用者や地域の方々の声に耳を傾ける取り組みをしております。苦情以外にもみなさまからのご意見・ご要望がございましたらお気軽にご連絡ください。

- 苦情解決責任者 福留久美(若草園施設長)
- 苦情解決員 森田佳代(主任保育士)
- 同 瀧澤 勝(主任指導員)
- 同 吉永直子(主任指導員)

方法は来園、電話、郵便、ファックス、メールなどいずれの方法でもかまいません。

相談員の皆さんは③ページにて紹介しています。



若草園の園舎建て替えから10年が経過した。この建設においても若草園は多大なる支援を頂いた。総工費約3億3千万円のうち自己資金はわずか22%の約7千万円。しかもその大半の約6千万円は福祉医療機構から借り入れての事業だった。▼この10年で児童福祉のあり方についての考え方もいぶん変化した。平成29年8月に提示された「新しい社会的養育ビジョン」では家庭的養育がより進化した。里親制度促進の反面、施設にはより高度な支援を必要とする子どもが残される。措置延長や退所後の自立支援事業の制度も充実した。脱施設化が叫ばれている中にあっても、心身共に傷ついた子ども最後の砦として、児童養護施設存在は大きい。▼少子化の時代にあっても児童虐待にまつわる統計数はうなぎ上り。耳をふさぎたくなくなるニュースが絶え間なく流れている。事件はテレビの向こうで起きているのではない。私たちの街にも助けを必要とする子どもが居ることを知って頂きたい。(セ)

編集後記

